

鹿島経済特区（＝素材産業再生）計画

－世界に通用するコンビナートの再構築をめざして－



鹿島経済特区（＝素材産業再生）計画

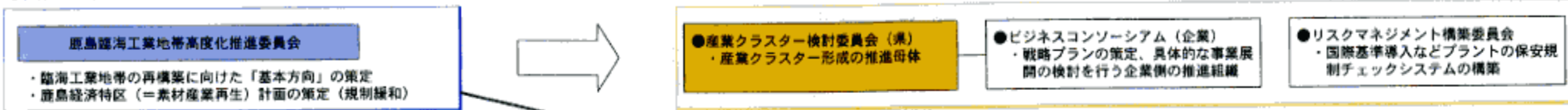
◆ 「鹿島経済特区（＝素材産業再生）計画」策定のアウトライン	1
◆ 第1章 我が国の基礎素材型産業の動向と国際競争力強化に向けた課題	3
1-1 石油化学工業の動向と国際競争力強化に向けた課題	5
(1) 石油化学工業の現状と事業環境変化の動向	5
(2) 国際競争力強化に向けた課題	11
1-2 鉄鋼業の動向と国際競争力強化に向けた課題	12
(1) 鉄鋼業の現状と事業環境変化の動向	12
(2) 国際競争力強化に向けた課題	17
1-3 主要企業による高付加価値分野、新規成長分野への進出の状況	18
◆ 第2章 鹿島臨海工業地帯の現状と課題	29
2-1 鹿島臨海工業地帯の現状	31
(1) 鹿島臨海工業地帯形成の経緯	31
(2) 鹿島臨海工業地帯の現状	33
2-2 立地条件の検討	38
(1) 立地条件の現状	38
(2) 立地条件の評価と今後の整備課題	47
◆ 第3章 鹿島臨海工業地帯の再構築に向けた基本方向	49
(1) 国際競争力のあるコンビナートへの構造転換	51
(2) 基礎素材型産業の高付加価値化への展開	54
(3) 新規成長分野への新たな事業展開	56
(4) 魅力と活力あるインフラ拠点の創出	58
(5) 快適で利便性の高い居住環境の創出	59
◆ 第4章 鹿島経済特区（＝素材産業再生）計画	61
1. 基本的な考え方	65
1-1 地域特性と背景	65
(1) 素材産業の現状と今後の動向	65
(2) 鹿島臨海工業地帯の特性	65
1-2 計画のねらい（目標）	67
1-3 計画の構成	69

2. 具体的な規制緩和	70
2-1 素材産業（石油化学・鉄鋼）等の国際競争力強化	70
(1-1) 高生産性プラントへの転換を図るための規制緩和	71
i) 国際基準（スタンダード）への移行	71
ii) 工場・プラント（敷地）の有効活用【コンパクト化】	75
iii) プラント間におけるインテグ（統合）化の推進	79
iv) 自主保安体制への移行	82
v) 鉄鋼スラグ等の弾力運用	84
(1-2) 連続運転にかかる各種検査の認定要件の緩和	87
2-2 業種構成の多様化と新規成長分野への展開	90
（鹿島臨海工業地帯の新たな段階（ネクステージ）への展開）	
(2-1) 首都圏整備法に基づく工業団地の立地業種・譲受人等の規制緩和	90
(2-2) 特区内での緑地整備等の弾力的な運用	91
(2-3) レイアウト規制等の緩和	92
(2-4) ファイン・研究開発プラント立地にあたっての規制緩和	95
2-3 最適な立地環境の実現	97
(3-1) 鹿島工業用水の企業債及び割賦負担金に係る償還の優遇措置	97
(3-2) 特区へのPPS参入と廉価での供給	99
(3-3) 企業誘致にかかる優遇税制の特例措置創設	100
2-4 臨海部としてのメリット強化	102
(4-1) 鹿島港24時間フル稼働化	102
(4-2) 船舶大型化に伴う諸規制の緩和	103
(4-3) ワンストップサービスの導入	104
(4-4) 航路の維持浚渫にかかる国負担制度の創設	105
◆ <参考> 今後の展開（各種施策）	106
1. リスクマネジメントシステムの構築	106
2. 産業クラスター戦略プランの策定	108
① ビックプロジェクトへの参入（サリンパイラインの鹿島直結）	108
② 次世代エネルギープラントの稼働（DME、バイオマス、水素燃料等）	109
③ 自動車、エレクトロニクス分野への展開（素材→部品生産）	109
④ ファイナミカル、バイオゲムプラントの稼働（高付加価値）等	109
⑤ 国際基準の導入による外資系企業との合併事業の展開	109

「鹿島経済特区（＝素材産業再生）計画」策定のアウトライン

[平成14年度]

[平成15年度]



第1章 我が国の基礎素材型産業の動向と国際競争力強化に向けた課題

○石油化学工業における競争力強化の課題
 ・汎用製品分野における競争力の強化
 ・特殊製品分野における競争力の強化
 ・情報化の戦略的推進
 ・アジア等成長市場への投資

○鉄鋼業における競争力強化の課題
 ・需要に見合った強靱な生産体制の構築
 ・アジア全体の効率的な鉄鋼生産体制の構築
 ・技術開発の促進と事業フロンティアの拡大
 ・鉄スクラップ増大への戦略的対応

第2章 鹿島工業地帯の現状と課題

○産業集積の拡大・産業構造の重層化
 ・基礎素材型工業の川上分野に特化した構造
 ↓
 ・川下分野を担う産業立地の促進
 ・産業集積の多様化・重層化

○立地条件の向上
 ・ユーティリティコストの低減
 ・筑波等の学術研究集積との連携強化

第3章 鹿島臨海工業地帯の再構築に向けた基本方向

①国際競争力のあるコンビナートへの構造転換
 ・既存プラントの高生産性プラントへの転換、プラント間の有機的結合の強化促進

②基礎素材型産業の高付加価値化への展開
 ・ファイン化の推進、組立加工系の導入・展開、企業集積（産業クラスター）の形成

③新規成長分野への新たな事業展開
 ・次世代エネルギー生産拠点の創出、研究開発から生産拠点までの展開

④魅力と活力あるインフラ拠点の創出
 ・低廉なインフラ供給の促進、港湾・物流機能強化促進

⑤快速で利便性の高い居住環境の創出

第4章 鹿島経済特区（＝素材産業再生）計画

○日本の素材産業再生に向けたモデル事業の展開

ねらい1) 国際競争力の高いコンビナート（プラント）への転換

ねらい2) 国内最高水準の素材産業（スチール・ケミカル）クラスターの創出

ねらい3) 海外と同レベルの魅力ある立地環境の実現

戦略プラン等の策定

**●産業クラスター戦略プランの作成
 ～戦略プランのイメージ～**

○ビッグプロジェクトへの参入
 ・サハリプロジェクトの鹿島直結等

○次世代エネルギープラントの稼働
 ・DME、バイオマス、水素燃料等

○自動車、エレクトロニクス等川下分野の導入・展開
 ・素材から部材、部品生産

○ファインケミカル、バイオ、ゲノムプラント稼働（高付加価値化）等

○国際基準の導入による外資系企業との合併事業の展開

●リスクマネジメントシステムの構築

の策定

○監視（チェック）体制

○安全性の検証